

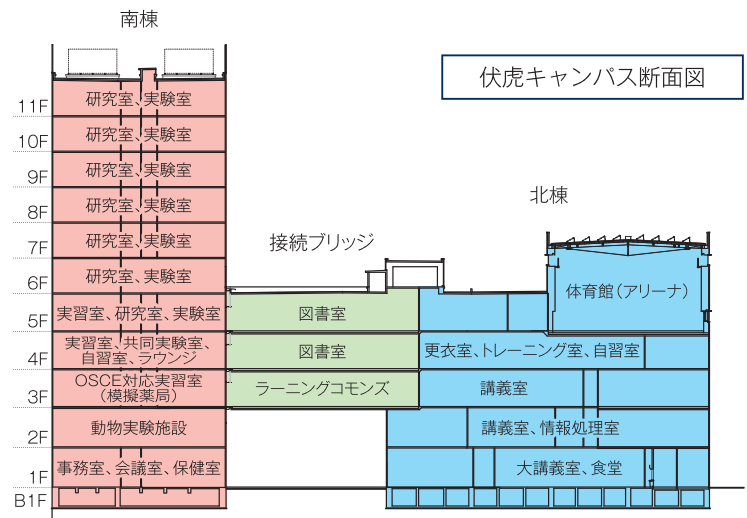
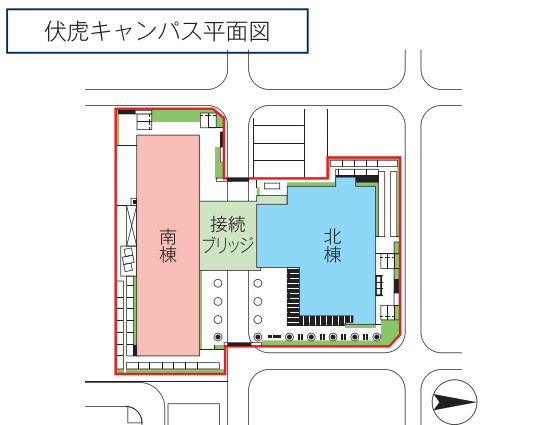
研究室

学生は全員、3年次後期から研究室に配属されます。研究室では、最新の薬学知識や専門英語、研究技術を学ぶとともに自己の研究に励み、他学生との研鑽や教員による熱心な指導を通じて、薬学研究者の心構えや問題発見能力及び問題解決能力を習得します。また、研究者への一歩となるべく、研究倫理に従い科学的根拠に基づいた国際水準の卒業論文を作成します。

物理・化学薬学部門	生命薬学部門	医療薬学部門	臨床・社会薬学部門	医療教育企画室
物質の化学的、物理的性質や構造を知り、創薬につなげる領域	生命現象を解明することを基点に創薬や臨床へつなげる領域	生体内での医薬品の働きを理解する領域	患者の疾患に対し適正かつ安全な薬物治療の在り方を追究する領域	学生が実践的な能力を習得できる教育手法の開発を行う領域
薬品物理化学 薬品化学 生薬・天然物化学	病態解析学 生物化学 分子生物薬学 生体機能解析学 衛生薬学	病態生理学 薬品作用学 薬物治療学 薬剤学	病院薬学 社会・薬局薬学 医療薬剤学 医療情報薬学 医療開発薬学	医療教育企画室

教育研究環境

薬学部キャンパス（伏虎キャンパス）



主な研究機器	
・ NMR (核磁気共鳴装置)	
・ TOF/MS (飛行時間型質量分析装置)	
・ フローサイトメーター	・ 蛍光顕微鏡
・ 共焦点レーザー顕微鏡	・ リアルタイム PCR
・ LC/MS/MS (液体クロマトグラフタンデム質量分析装置)	

和歌山城を眺めることができる南棟は11階建てで、実験室や研究室、模擬薬局があります。北棟は5階建てで講義室や体育館（アリーナ）があります。北棟と南棟を繋ぐガラス張りの接続ブリッジには図書室、ラーニングcommonsを備えています。

様々な勉強スタイルに応じた自習室だけでなく、憩いの場としてラウンジやリラクゼーションスペースも充実させ、学生生活に最適な教育環境を整えています。

キャンパス外の施設として和歌山県植物公園緑花センター（岩出市）内に薬草園を設置しています。ここでは、生薬に関する実習や研究を行います。